

秋田の結核対策の経験と、保健医療サービスを世界へ！

世界各国から来日した研修員が秋田県庁、仙北地域振興局、大仙市役所、県南健診センター、ロートピア仙南、仙南診療所等を訪問

7月16日(火) ~ 7月18日(木)

国際協力機構(JICA)が結核研究所と共に開発途上国を対象に実施する研修「SDGs達成へ向けた UHC¹時代の結核制圧」の一環で6か国8名の研修員が秋田県庁、仙北地域振興局、大仙市役所、県南健診センター、ロートピア仙南、仙南診療所等を訪問します。

かつて日本でも「国民病」と言われた結核。日本の結核対策の経験は現在も結核が蔓延する国々に活かすことができます。JICAの研修の中でも50年以上の歴史がある結核対策研修には、結核高蔓延国から保健省の行政官が参加し、自国での結核プログラム強化に向けた活動モニタリング・評価手法、及び改善策策定に必要な知識・技術を習得します。

国連で採択されたSDGs²、そしてUHCの達成に貢献するため、本研修では秋田県を訪問し、日本の保健医療サービスや結核対策について学びます。

7月16日(火)	15:00 ~ 16:00	秋田県健康福祉部長表敬訪問 秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課から説明
7月17日(水)	9:30 ~ 10:30	仙北地域振興局視察 仙北地域振興局福祉環境部(大仙保健所)から説明
	11:00 ~ 11:30	大仙市役所 大仙市長表敬訪問
	13:00 ~ 14:00	大仙市住民健診視察(西仙北スポーツセンター)
7月18日(木)	9:30 ~ 10:30	秋田県総合保健事業団 県南健診センター(美郷町南行政センター) さわやか2号(寝たきり胸部検診車)見学
	10:30 ~ 11:30	特別養護老人ホームロートピア仙南視察
	11:30 ~ 12:30	仙南診療所視察

訪問者：JICA 研修員(アフガニスタン、ミャンマー、パプアニューギニア、フィリピン、東チモール、ザンビア)、結核研究所所長、結核研究所コース担当、JICA 東京担当、研修監理員
 研修受託先：公益財団法人 結核予防会結核研究所

【本件に関する問い合わせ先】※ご取材希望の方は、事前にご一報ください。

JICA 東京人間開発・計画調整課 中沢 美保子

TEL : 03-3485-7079 E-mail : Nakazawa.Mihoko@jica.go.jp

※電話でのお問い合わせは平日(9:00-17:15)のみ繋がります。

！ぜひ取材をご検討下さい！

¹ UHC(Universal Health Coverage):全ての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを支払い可能な費用で受けられること。政府は日本の国民皆保険制度の知見を世界へ発信している。

² SDGs(Sustainable Development Goals):2015年に国連で採択された開発目標。Goal 3では2030年までに結核を制圧することが目標となっている。